

輸送路における放射線量率の測定地点

輸送車両の通過地点のうち交差点や速度低下地点において、遮へい板付きの測定器を用いて周囲の放射線の影響を除去し、車道から歩道方向に入射する放射線量率の変化を測定している。



輸送路における放射線量率の測定結果

	当該地点を 通過した 輸送車両数 [台]	うち通過時に線 量率の増加が 観測されたもの [台]※ ¹	(参考) 当該地点の 空間線量率 [μ Sv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく 線量率 (瞬間最大値) [μ Sv/h]※ ²	線量率の増加が 観測された時間 (累積) [分]※ ²	追加被ばく線量 (累積) [μ Sv]
①南相馬IC	19,222	610	0.10	0.06	89	0.03
②浪江IC※ ³	10,191	71	0.22	0.03	12	0.004
③大熊IC	25,318	1,191	0.28	0.07	210	0.05
④常磐双葉IC	4,227	8	0.74	0.02	1.3	0.0004

※¹ 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値＋標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

※² 測定は20秒単位。

※³ ICにおける降車と乗車の輸送車両を対象としている。

輸送路における放射線量率の測定結果(2023年4月～2024年3月)

<評価>

輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。